

ゼッケンNo.	所属	氏名
---------	----	----

問 1 2018年度、「資格検定受験者のために」発刊にあたっての冒頭の文です。  
( )内を記入しなさい

公益財団法人 全日本スキー連盟は、わが国における( スキー界 )を統括し、代表する公益団体として、スキーの( 普及 )及び( 振興 )を図り、もって国民の心身の健全な発達に( 寄与 )することを目的としています。  
教育本部は、この目的を遂行するため、具体的にな事業として( 指導者育成事業 )をその重要な柱として位置づけています。

(2点×5)

問 2 スキースポーツの魅力と真価のところで、「スポーツ」は3つに大別することができます空欄を記入しなさい

「 する 」スポーツ      「 観る 」スポーツ      「 支える 」スポーツ

(1点×3)

問 3 公認スキー指導者規定について記入しなさい

(任務)  
第3条 指導者は、スキー界の先達として自覚と誇りをもって、その普及発展に努めなければならない。

(3点)

(義務)  
第6条 指導者は、次の各号に掲げる義務を負うものとする。  
(1)指導者の任務を完遂するため、加盟団体が主管するスキー指導者研修会に2年に1回(隔年)参加し、修了しなければならない  
(2)指導者は、加盟団体の事業には、優先的に参加しなければならない

(3点×2)

(資格の停止)  
第4条 指導者が、( 指導者研修会 )を( 2 )年続けて( 未修了 )の場合は、指導者の資格を停止する。

(1点×3)

(資格の喪失)  
第9条 指導者で、次に掲げる各号の一に該当する者は、理事会の決定により、指導者の資格を喪失する。  
(1) 本連盟会員登録規程第4条の規定により、会員の資格を喪失したとき  
(2) 本連盟の規約に違反し、指導者としての体面を汚すような行為があったとき  
(3) 資格の年次登録料を納期までに納入しないとき

(3点×3)

問 4 日本におけるスキーの歴史について( )内を記入しなさい。

日本においては、( 1911 )年、高田市にてテオドル・フォン・( レルヒ少佐 )が来日しスキー専修員に教授したことがはじまりとされ、2003年には日本で本格的なスキー指導が行われた。1月12日を記念して( スキーの日 )と制定しました。  
ツガルスキーの弟子である彼が伝えた技術は、長い( 一本杖 )を用いた半制動滑降と( ボーゲン )がその特徴でした。

(2点×5)

問 5 これまでに、日本で行われた二度のインタースキーの開催年と開催地を答えなさい。

	開催年	開催地
1	1979年	蔵王
2	1995年	野沢温泉

(1点×4)

問 6 次の( )に、もつとも当てはまる語句を下から選び、記号で答えなさい。

山へ登り、高さが増すにつれて気温が( カ )がります。気温が下がる場合は、「気温の減率」と言って高さ( ウ )についておよそ( シ )です。  
つまり高さ1,000mでは、平地より約( ケ )低く、2,000mでは約( エ )低くなることになります。また、体感温度は、風速( コ )増すごとに( ア )以上低くなるといわれています。  
すなわち、氷点下10℃以下で風速20mの風が吹いている稜線上での体感温度は氷点下( キ )以下にもなります。

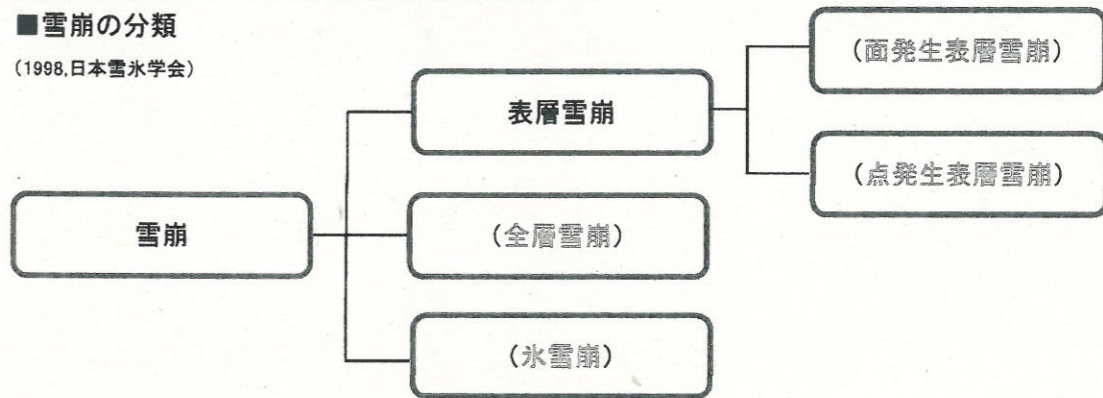
【語群】

ア.1℃	イ.20m	ウ.100m	エ.12℃	オ.上	カ.下	キ.30℃
ク.10℃	ケ.6度	コ.1m	サ.1,000m	シ.0.6℃		

(2点×8)

問 7 雪崩の分類についてです。表の空欄を埋めなさい。

■雪崩の分類  
(1998,日本雪氷学会)



(1点×4)

問 8 次の文は、救助者が守るべきことです。空欄に適切な語句を入れて文を完成しなさい。

- 1 ( 自分自身 )の安全を確保します。周囲の状況を観察し、二次事故(災害)の防止に努めます。
- 2 原則として( 医薬品 )は使用しません。
- 3 あくまでも医師または、救急隊に引き継ぐまでの( 手当 )にとどめます。
- 4 必ず医師の診療を受けることを勧めます。
- 5 ( 死亡の判断 )を行ってはいけません。※( )は医師がその資格において行なうものです。

(2点×4)

問 9 RICE処置について記しなさい。また実際には、RICE処置に加えてもうひとつの処置が行われます。その処置も書きなさい。

- 1 安静(Rest)
- 2 冷却(Icing)
- 3 圧迫(Compression)
- 4 挙上(Elevation)
- 5 固定(Stabilization)

(2点×5)

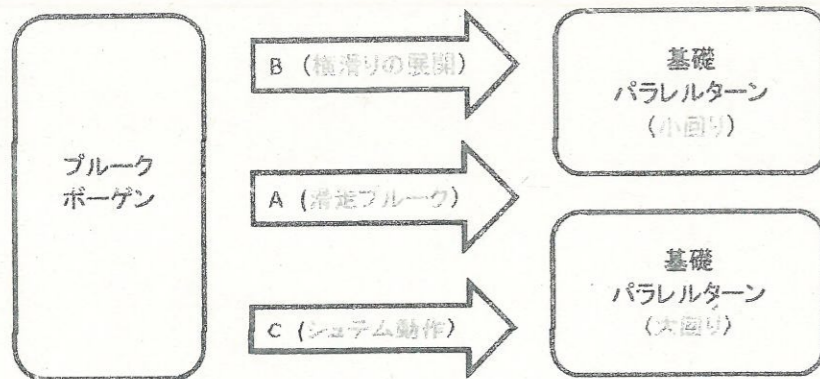
問 10 初心者技術としてブルークボーゲンを採用する理由を3つ書きなさい。

- 1 エッジング、迎え角、くの字姿勢の基本要素を含んでいる
- 2 ブルーク姿勢は左右それぞれくの字姿勢を含んでいる
- 3 力学的な安定が心理的な安定につながる

(2点×3)

ゼッケンNo.	所属	氏名
---------	----	----

問 11 三本の矢の図です。空欄を埋めなさい



問 12 用語について説明しなさい

**基礎パラレルターン**

スキーを平行に保ちターンできる技術 / 初めて両足を揃えてできる連続ターン技術

**横滑り**

スキーの真横、または斜め前後方向にスキーをスライドさせながら滑ること

**シュテム**

ターンを切りかえるときに、スキーをハの字形に開き出す操作のこと

問 13 基礎パラレルターンからパラレルターンの展開において傾きの制御があります。下記は2つの傾きの考え方についてです。( )内を記入しなさい。

(1) 静的内傾維持

(緩斜面の大回り)系種目では速度、回転半径がターンを通じて一定であり、受ける力の大きさ方向ともに一定であるので、身体の傾きも(一定)に維持されます。

(2) 動的内傾促進

(中急斜面での大回り)系種目では、(ターン)が進むにつれて速度、回転半径が変化します。このとき、受ける力の大きさ、方向が変化するので、(バランス)をとるために身体の傾きも変化します。

問 14 カービングについて記載したものです。空欄に適する語句を記入しなさい。

カービング(carving)とはスキーで雪面を強く捉えて、(スピード)と(進行方向)を制御することです。

もともとの意味は、雪面を(彫り込む)ことです。

「速度を(推進)する」機能だけでなく、「速度を(制御)する」機能もあります。

問 15 評価の観点について記載したものです。空欄に適する語句を記入しなさい。

(状況)・条件に対応して滑る能力

- 1 ターン運動の構成 【(ポジション)と(エッジング)】
- 2 運動要領への適用度 【(スピード)と(回転弧)の調整】
- 3 運動の質的内容 【(バランス)、(リズム)、(タイミング)】

問 16 次の表は、指導の各時期において行われる3つのねらい、評価内容、評価尺度を表したものです。

表中の空欄に該当する語句を下の語群から選んで記号で答えなさい。

	(ク)	形成的評価	(ウ)
時期	指導前	(ア)	指導後
ねらい	指導計画の(オ)	学習内容や方法の調整 学習の(シ)	1.指導計画・指導法の改善 2.技能の決定・単位の認定
	学習者の実態	学習者の進歩の度合い	(イ)
評価内容	技能程度・意識・体力 運動能力・(コ) 指向・欲求・願望	学習者が好ましい 方向に変容しているか	(エ)
(カ)	絶対・相対評価	絶対評価	相対・(サ)

【語群】

ア. 指導中    イ. 学習成果の状態    ウ. 総合的評価    エ. 技能テスト    オ. 立案・修正    カ. 評価尺度    キ. 相対評価  
ク. 診断的評価    ケ. 個人内評価    コ. 性格    サ. 絶対評価    シ. 動機づけ・意欲化

(2点×10)

問 17 望ましいスポーツ公認指導者のあり方について、空欄に適する語句を語群から選び記号で答えなさい。

指導者は、専門的な知識・技能や高いコーチング能力だけでなく、プレイヤーの(ク)と自立心を育て、マナー・エチケットなどの(ケ)を身につけさせるとともに、プレイヤーが(キ)を設定できるようにサポート、スポーツとの出会いを(コ)できなければならない。

さらに、スポーツ活動の(イ)や、(エ)をつくり、快適な(オ)を構築するための方法や内容についてもサポートし、個人々の年齢、技能、要求にあったその年代における(シ)を行うことも必要です。

また、メディカル・コンディション・マネジメント面等で協力し、プレイヤーに対し、(サ)を提供し、(ア)に努め、社会に評価される指導者を目指すことに対応することが求められます。

(2点×10)

ア.自己研鑽    イ.継続    ウ.活性化    エ.スポーツ仲間    オ.スポーツライフ    カ.技能    キ.明確な目標  
ク.やる気    ケ.道徳的軌範    コ.コーディネイト    サ.最適な環境    シ.最適な指導    ス.礼儀作法

問 18 キッズ&チルドレンを対象にスキー指導を行う際の原則について( )に当てはまる語句を

下記の語群から選択し記号で答えなさい

(イ)歳頃からがスキー遊びの開始適期であり、自発的な遊びには夢中になり、長い時間での活動が可能である。自発的な遊びを盛り上げるよう活動の(エ)化と(ソ)を整える工夫が必要である。本格的なスキーへの導入は動的バランス能力が身につく幼児期(セ)頃が適切である。指導は、具体的な動きを(カ)し、まねさせる。具体的な感覚に頼った直接経験的な学習が効果的である。(キ)が著しく発達する時期である小学校(ク)までは、ひとつのパターンにはめ込まず、いろいろな(サ)を経験させることが望ましい。

(2点×8)

【語群】

ア. 2    イ. 3    ウ. 4    エ. ゲーム    オ. 持久力    カ. 示範    キ. 調整能力    ク. 低学年    ケ. システム    コ. 用具  
サ. 状況変化    シ. 高学年    ス. 前期    セ. 後期    ソ. 環境条件

問 19 今回指導員検定を受検しようと思った動機と抱負・決意について貴方自身の考えを述べなさい

(動機)スキー学校のアシスタントとして協力してみたい、指導者を目指し技術向上したいと思った etc

(決意)スキー指導者として、子供達にスキーの楽しさを伝えると同時に富山県スキー連盟に協力しスキー界を盛り上げていく etc

(2点)